

教育目標 主体的に深く考え、心豊かに関わり合い、未来をしなやかに生きる子の育成

- ・ 主体的に問いをもち、深く考え、適切な判断と協働ができる子
- ・ 豊かな感性をもち、多様な人と関わり、自他共に命を大切にできる子
- ・ 身につけた知識・技能を活用し、課題に適切に対応できる子

校経営方針 『個別最適で 対話的で 練られた協働学習』

○だれもおいてきぼりにしない学校

○子どもが明日の学び(夢)を語れ、なりたい自分を求める学校

○子どもたち相互の伝え合いから創られていく学校

教職員の授業改革意識(見えない学力向上)

「環境づくり」一人一人の多様性を認めながら、周りの子どもたちも育て、個々をつなぐ取り組みを進める。

- ① 人権を基盤とした自他を大切にできる力
- ② 主体性を持って自分の考えを持つ力
- ③ 思いを表現し共有できる力
- ④ 取り組み続ける力を各教科・領域に仕組んでいく環境を作っていく。

これには客観視はできにくいこともあるので自己評価をする力も同時に育てていく。子どもたちには「分かった」「楽しかった」で評価するのではなく何ができて、何を使えるようになったかをメタ認知的に取り入れる。これらの教育力と基礎・基本的な学習の習得から『主体的で対話的な深い学び』へと誘っていく授業改革意識を目指す。

重点目標

- すべての子どもが自立して社会で生き、個人として豊かな人生を送ることができるようその基盤となる『生きる力』を培う。
- たくさんの人たちと関わり、さまざまな経験を重ねるなかで今日的な教育諸課題や新しい時代にすべての子どもたちの可能性を引き出す学びと協働的学びの実現を図る。

①多様性の尊重と学習参加の保障

- ・ 基礎・基本の定着を図る取組を学校全体で活性化させる。
- ・ 家庭を主体とした基礎的・基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・ 「個」のニーズを把握し、自立に向けた授業参加の保障をする。

(合理的配慮と基礎的環境整備の充実)

②学習の質の向上 授業改革(主体的・対話的で深い学び)

- ・子どもが主体的な学びができるように、つきたい力を明確にした授業づくり。
- ・子どもが思わず対話し始めるような、体験的・問題解決的な学習の充実。
- ・子どもが学習の初めと終わりに自らの学びの深まりを感じられる評価活動。

③対等で安心できる人間関係づくり

- ・特定の教科・領域に限らず、すべての教育活動の根底になかまとの豊かで本質的な「つながりづくり」を据えた教育内容を創造する。
- ・人権感覚を育て、規範意識を高める教育の推進する。
- ・カリキュラムマネジメントによる教科を超えた言語活動の活性化させる。
- ・地域・関係機関等の人とのねらいを明確にした交流学习の推進させる。

④安全教育・健康教育の推進

- ・自己の健康、安全管理能力の向上を図る取組の活性化。
- ・体育科、運動遊びを充実させ、体力向上を図る。
- ・食育の推進を図る。
- ・命の授業を充実させる。
- ・キャリア教育による「未来を創る力」の育成を図る

学校経営方針を「個別最適で 対話的で 練られた協働学習」として教育活動を展開していく。

本校は、統合一年目であり今年度は264名の児童と34名の職員でスタートする。学校教育目標にある「主体的に深く考え、心豊かに関わり合い、未来をしなやかに生きる子の育成」の実現に向けて教職員が一丸となり全職員で全児童をみることをめざし、力を合わせて児童の育成に取り組む。

「わかる・できる」が実感でき、安心して学習できる学校を目指し、学力向上を中心に据えて学校経営を行う。これまでの指導方法や取組の成果を生かしながら、常に児童の実態と社会の状況を見極めながら改善を行い、指導技術の向上、児童のつまずきの解消、効果的な補充学習を目指す。

「ギガスクール構想」に基づき、一人一台のタブレット端末が配備されICT機器を効果的に活用する方法を研修し、子どもたちの学力向上に役立てていきたいと考える。各環境・状況に合わせてオンライン授業等も行えるよう、どの子どもたちにも学習参加できるよう研修を進めたいと考える。

令和6年度の4つの骨組

1 統合校として「地域とともにある学校」の推進

児童数の少ない学校であることから、一人ひとりを職員全員で見守り、きめの細かい教育の実現を目指す。また、保護者、地域の方々との連携を深め、温かみのある学校を目指す。

2 一人一人を大切にする「個に応じた学び」の充実

これまで進めてきた支援をさらに進めるとともに、子どもたちの発達段階に応じた、個を大切にする指導を心がけ、子どもたちが互いに尊重し合い、学び合える環境を整えることをめざす。

3『夢』を育み、子どもたちにとって「楽しい」学校づくり

全職員で子どもたちを見守り、あらゆる学びの場で、人を思いやり、相互理解を深める人間関係づくりを推進し居心地の良い学びの場を創造するとともに、さまざまな体験活動を通じて、好奇心にあふれ主体的に行動する子どもを育て、みんなが楽しいと感じる学校をめざす。

4 新指導要領の理念に基づく未来志向の学力向上

新学習指導要領の理念に基づき、主体的・対話的で深い学びを目指す系統的な教育課程を推進し、体験活動を通して「知識」を「知恵」へと昇華させる「学びの場」を創造します。

この4つの重点目標と4つの骨組で、教育目標を目指していく。